

各分野における主な提案品目（物品・役務）

分野	主な提案品目等	見直し・新規追加	提案の内容（判断の基準の考え方等）	検討に当たっての留意点等
紙類	コピー用紙	見直し	その他持続性を旨とした原料の調達方針に基づいて使用するパルプの重み付けの見直し（森林認証材パルプ、間伐材パルプと同等とする）	・紙類への総合評価指標の導入による市場の状況について情報の収集を実施
	印刷用紙	見直し	その他持続性を旨とした原料の調達方針に基づいて使用するパルプの重み付けの見直し（森林認証材パルプ、間伐材パルプと同等とする）	・紙類への総合評価指標の導入による市場の状況について情報の収集を実施
	印刷用紙	見直し	抄色紙の総合評価値の加点方法の見直し	・紙類への総合評価指標の導入による市場の状況について情報の収集を実施
	ストーンペーパー	見直し 新規追加	石灰岩と高密度ポリエチレンを原材料とした紙・各種紙製品。原材料に木材を使用しないことによる森林保護及び製紙工程における水質汚濁、大気汚染等の防止	・環境負荷低減効果を具体的に示す根拠が不足 ・使用後の回収・リユースの方法に関する資料が不足 ・市場における競争性の担保に留意する必要
文具類	ファイル	見直し	国産バイオマス素材を10%以上配合。化石資源利用の削減、国産の未利用有機資源の有効活用	・再生プラスチック配合品とのLCA比較による環境負荷低減効果に関する検討が必要
	ボールペン	見直し	バイオマス樹脂（ABS70%：PLA30%）を採用することによる石油資源の利用節減、カーボンニュートラルの考えに基づくCO <sub>2</sub> 排出抑制	・再生プラスチック配合品とのLCA比較による環境負荷低減効果に関する検討が必要
	ラミネートフィルム	新規追加	再生プラスチック（30%）または植物由来プラの使用	・環境負荷低減効果の確認が必要 ・国等の機関における調達実績の確認が必要
	シャープペンシル	見直し	植物由来プラスチック（ポリ乳酸樹脂等）の使用による化石資源の使用量抑制、CO <sub>2</sub> 排出抑制	・再生プラスチック配合品とのLCA比較による環境負荷低減効果に関する検討が必要
	シャープペンシル替芯（容器）	見直し	植物由来プラスチック（ポリ乳酸樹脂等）の使用による化石資源の使用量抑制、CO <sub>2</sub> 排出抑制	・再生プラスチック配合品とのLCA比較による環境負荷低減効果に関する検討が必要
	ボールペン	見直し	植物由来プラスチック（ポリ乳酸樹脂等）の使用による化石資源の使用量抑制、CO <sub>2</sub> 排出抑制	・再生プラスチック配合品とのLCA比較による環境負荷低減効果に関する検討が必要
	事務用修正具（テープ）	見直し	植物由来プラスチック（ポリ乳酸樹脂等）の使用による化石資源の使用量抑制、CO <sub>2</sub> 排出抑制	・再生プラスチック配合品とのLCA比較による環境負荷低減効果に関する検討が必要
	定規	見直し	植物由来プラスチック（ポリ乳酸樹脂等）の使用による化石資源の使用量抑制、CO <sub>2</sub> 排出抑制	・再生プラスチック配合品とのLCA比較による環境負荷低減効果に関する検討が必要
	名札（衣服取付型・首下げ型）	見直し	植物由来プラスチック（ポリ乳酸樹脂等）の使用による化石資源の使用量抑制、CO <sub>2</sub> 排出抑制	・再生プラスチック配合品とのLCA比較による環境負荷低減効果に関する検討が必要

分野	主な提案品目等	見直し・新規追加	提案の内容（判断の基準の考え方等）	検討に当たっての留意点等
オフィス家具等	いす	見直し	金属類が大部分を占めるオフィスチェアの判断の基準の見直し（棚及び収納用什器と同様の基準を適用）	・棚及び収納用什器と同様の基準は適用できないことに留意が必要
	黒板	見直し	廃プラスチックを100%使用することによる廃棄物の削減。廃棄時の回収・再利用システムによる循環型利用	・現行の判断の基準を満たしており、既に特定調達物品 ・回収、リサイクルシステムについては、他社の実施状況等を確認する必要
OA機器	掛時計	見直し	一次電池を補助的に使用する太陽電池時計に係る判断の基準の設定	・市場における供給状況の確認が必要
	トナーカートリッジ	見直し	トナーカートリッジのクロードリサイクルシステムの追加	・市場における供給状況の確認が必要
	インクカートリッジ	見直し	再利用率、マテリアルリサイクル率の設定	・市場における供給状況の確認が必要
	ラミネーター	新規追加	消費電力量の低減	・国等の機関における調達実績及び調達可能性の確認が必要
	記録用メディア	見直し	植物を原料とするプラスチック（ポリ乳酸樹脂等）を使用した製品について、ケースではなく、本体への使用を配慮事項に追加	・平成23年度中を目処に市場投入が見込まれるもの ・環境負荷低減効果、供給状況等の確認が必要
照明	照明器具（蛍光灯照明器具）	見直し	省エネ法トップランナー基準の改定に対応した判断の基準の見直し	・省エネ法の改定に伴う修正
	直管蛍光灯型CCFL照明	新規追加	長寿命で消費電力の少ない冷陰極蛍光管（Cold Cathode Fluorescent Lamp-CCFL）を使用することによるCO <sub>2</sub> 排出量の削減	・市場における供給状況の確認が必要 ・器具の配線等の工事が別途必要 ・品質面・価格面の課題に関する検討が必要
	電球形LEDランプ	見直し	LED使用の電球形のランプの使用による消費電力の削減（白熱電球の代替）	・エネルギー消費効率の設定について検討 ・電球形蛍光灯については、省エネ法の特定機器に指定されたため、別途判断の基準の見直しを実施
自動車等	自動車（他に同提案1件）	見直し	熱可塑性植物由来材料を自動車内装材等に使用することによるCO <sub>2</sub> 削減	・環境負荷低減効果の確認が必要 ・市場における供給状況等の確認が必要
	トラック・バス用低燃費タイヤ	新規追加	転がり抵抗低減による燃費効率向上	・乗用車用タイヤ以外のタイヤの転がり抵抗の試験方法（業界団体との調整） ・国等の機関の調達実績の確認が必要

分野	主な提案品目等	見直し・新規追加	提案の内容（判断の基準の考え方等）	検討に当たっての留意点等
その他 繊維製品	梱包ベルト	新規追加	反復利用可能な再生ポリエステル布地を使用した荷崩れ防止ベルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>国等の機関における調達実績の確認が必要</li> <li>他の役務の一部としての調達可能性の確認</li> </ul>
設備	節水機器、節水コマ、定流量弁	見直し	節水効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行の判断の基準を満たしており既に特定調達物品</li> </ul>
	ハンドドライヤー	新規追加	紙ごみなどの廃棄物の抑制、省エネ、CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費電力量の削減による環境負荷低減効果は見込まれるが、設置自体を推奨するものではない。</li> </ul>
	日射調整フィルム	見直し	夏場の冷房による消費電力の削減、冬場の暖房による消費電力の削減（車載用ガラス向けの飛散防止フィルム）	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築物の窓ガラスに貼付するフィルムについては、既に特定調達品目</li> <li>車載用ガラス向けフィルムについては、国等の機関における調達実績・調達可能性及び市場における供給状況の確認が必要</li> </ul>
防災備蓄用品	アルミ缶飲料水	新規追加	アルミニウムを使用することによる環境負荷低減（PETボトルとの比較）	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルミニウムを使用することによる賞味期限の延長は評価</li> <li>普及に伴う価格面の課題解決に関する検討が必要</li> </ul>
その他	医療廃棄物プラスチック容器	新規追加	製造工程の端材を100%使用することによる廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>国等の機関における調達実績及び調達可能性の確認が必要</li> </ul>
	バイオマス由来燃料	新規追加	化石燃料の代替のバイオマス由来の燃料（バイオディーゼル、バイオエタノール（ETBE/E3）、廃棄物固形燃料（RDF・RPF））の使用による資源及びCO <sub>2</sub> の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な対象を絞込んだ上で、国等の機関における調達実績の確認が必要</li> </ul>
	植物の育苗・栽培容器	新規追加	バイオマスプラスチックを使用することによる化石原料の使用低減等	<ul style="list-style-type: none"> <li>国等の機関における調達実績の確認が必要</li> </ul>
	箸	新規追加	植物由来プラスチック（ポリ乳酸樹脂等）の使用による化石資源の使用量抑制、CO <sub>2</sub> 排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷低減効果の確認が必要</li> <li>国等の機関における調達可能性の確認が必要</li> <li>市場における供給状況の確認が必要</li> </ul>
	汎用鋼管杭	新規追加	繰返し使用できる耐久性を備えている、分別が容易などのリユース・リサイクル設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷低減効果の確認が必要</li> <li>国等の機関における調達実績及び調達可能性の確認が必要</li> </ul>
	燃料添加剤・燃焼改善剤	新規追加	機関、燃料系統、燃料経路のクリーン化、低温完全燃焼による排気ガスクリーン化、燃料消費量改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>国等の機関における調達実績の確認が必要</li> <li>環境負荷低減が見込まれる用途・種類について確認が必要</li> <li>市場における供給状況の確認が必要</li> </ul>

分野	主な提案品目等	見直し・新規追加	提案の内容（判断の基準の考え方等）	検討に当たっての留意点等
役 務	節水システム	新規追加	節水対策によるエネルギー使用量の低減	・国等の機関における役務としての調達可能性の確認が必要
	会議・イベントのカーボン・オフセット	新規追加	会議・イベントで排出される温室効果ガスの全量又は一部について炭素クレジット等を用いてカーボン・オフセットするもの	・カーボン・オフセット認証ラベル、制度の内容等の情報提供を図る
	印刷	見直し	古紙リサイクル適性ランクリストのBランクの紙も認めるべき	・古紙リサイクル適性ランクリストの見直しを反映 ・紙類への総合評価指標の導入による市場の状況について情報の収集を実施 ・必要に応じ印刷分科会において検討を実施
	印刷	見直し	古紙リサイクル適性ランクリストより、抄色紙の項目を削除	・古紙リサイクル適性ランクリストの見直しを反映 ・紙類への総合評価指標の導入による市場の状況について情報の収集を実施 ・必要に応じ印刷分科会において検討を実施
	印刷	見直し	総合評価指標から白色度基準の撤廃	・白色度への加点措置は、白色度を上げるための製造工程における環境負荷の増大、市中回収古紙の利用促進等の観点から必要 ・紙類への総合評価指標の導入による市場の状況について情報の収集を実施
	印刷	見直し	リサイクル適性ランクに係る情報提供を抄色紙、ファンシーペーパーに限定しない	・古紙リサイクル適性ランクリストの見直しを反映 ・紙類への総合評価指標の導入による市場の状況について情報の収集を実施 ・必要に応じ印刷分科会において検討を実施
	印刷版（アルミ基材のもの）のリユース又はリサイクル	見直し	アルミ基材の印刷板のリユース・リサイクルによる廃棄物の抑制	・印刷分科会において検討を実施
	木材防蟻・防虫・防腐	新規追加	薬剤を使用せず、耐蟻性、耐木材害虫性、耐木材腐朽菌性の木材を使用すること等による有害化学物質の削減	・国等の機関における役務としての調達可能性の確認が必要
	自動車の慣性力走行装置	新規追加	燃料消費量の削減、排出ガスの削減	・国等の機関における役務としての調達可能性の確認が必要 ・市場における供給状況の確認が必要
	産業廃棄物処理	新規追加	廃油、下水余剰汚泥等の産業廃棄物の処理委託におけるリサイクル率の高い（環境負荷の低い）処理	・委託事業者の評価方法の確立が必要 ・市場における供給状況（実施可能な事業者）について確認が必要
ダイオキシン類簡易測定法（生物検定法）	新規追加	簡易測定法による装置電力量、有機溶剂量（廃棄物）の抑制	・環境負荷低減効果、供給状況等の確認が必要 ・国等の機関における役務としての調達可能性の確認が必要	

## 各分野における主な提案品目（公共工事）

### 新規提案品目

分野	主な提案品目等	判断の基準の考え方
資材	再生骨材Mを用いたコンクリート製品	リサイクル
	再生骨材Lを用いたコンクリート	リサイクル
	コンクリート用再生骨材H	リサイクル
	環境配慮型道路照明	省エネルギー
	再生プラスチック製視線誘導標	リサイクル
工法	伐採材又は建設発生土を活用した法面緑化工法	リサイクル
	現位置再生小規模道路打ち換え工法	リサイクル

### ロングリスト掲載品目

分野	主な提案品目等	判断の基準の考え方
資材	アスファルト混合物・路盤材（溶融スラグ利用）	リサイクル
	再生常温アスファルト混合物	リサイクル
	建設汚泥再生路盤材	リサイクル
	ペーパースラッジを用いた土質改良材	リサイクル
	変圧器	省エネルギー
	空調用機器	省エネルギー
目的物	遮熱性舗装	ヒートアイランド抑制
	保水性舗装	ヒートアイランド抑制